

買い物プロジェクト ～いつまでも自分で買い物ができる町へ～

宮城親交会（友愛クラブ）の下川会長より「高齢者からスーパーが遠く買い物に行くのが大変という声が増えている」と地域包括支援センター新田（以下包括新田）に相談されました。そこで住み慣れた地域で暮らしていくために宮城親交会、関係機関、行政が集まって話し合いを行いました。

参加者の包括新田の母体団体である社会福祉法人愛寿会より「デイサービスの送迎をしていない時間帯であればぜひ送迎車を活用させてください」という力強い言葉をいただき、買い物支援を試しに実施してみることに決めました。

今後の開催頻度など検討は必要ですが、素晴らしい社会貢献の取り組みが始まりました。



宮城親交会では高齢者が高齢者を助ける。元気な高齢者はさらに元気に。いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らすことを目指しています。買い物は地域の顔なじみを作る機会にもつながる。ぜひこの課題を解決したい。（下川会長）



12/18(金)宮城親交会役員と包括新田、社会福祉法人愛寿会、紫磨園在宅サービスセンター、行政、社協が参加し地域ケア会議が開催されました。



12/28(月)快晴の天候に恵まれ12名の方が参加されました。買い物は、民生・児童委員、宮城親交会役員が見守ってくれ安心して買い物することができました。

取材日：令和2年12月18日・28日 参加者数：約20名

取材メモ：このような取り組みが区内で広がると良いと思いました。（市川・田嶋）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374